

手話狂言

公演 & サインマイム

日本ろう者劇団のレパトリーの中で最も力を入れているのが手話狂言です。何もかもが手探りの「世界ろう者演劇祭典」(1983年)に参加したイタリアのパレルモがはるか昔のことのように思えます。「狂言ってこんなに面白いって知らなかった！」見終わった後、こうおっしゃるお客様がたくさんいらっしゃるのも嬉しいことです。ぜひご覧いただきたいと思います。そしてよろしく願いいたします。



社会福祉法人トット基金
理事長 黒柳 徹子

コトバに頼らないパフォーマンスの魅力と可能性を発信します

12月16日(土)
11:00~12:00 (10:30 開場)
清泉女子大学 講堂

(〒141-8642 東京都品川区東五反田 3-16-21)

★**入場無料**(事前申し込み制)

お申込み締切
12月6日(水)
※定員になり次第、
締め切らせていただきます。

【お申込み方法】

- ① **ウェブ**
清泉女子大学
ボランティアラーニングセンター
※ウェブお問い合わせフォームを
ご利用ください。



https://www.seisen-u.ac.jp/contact/inquiry_volunteer-c.php

- ② **FAX**
03-5421-3260
※下記お申込み欄にご記入の上
お送りください。

【お問い合わせ】
清泉女子大学
ボランティアラーニングセンター
volunteer@ml.seisen-u.ac.jp
03-3447-5551(代)



**手話狂言公演【墨塗】+ミニワークショップ
&
サインマイム【狩人】**

【手話狂言】とは…

狂言のセリフは室町時代から江戸時代までの古いことばです。

日本ろう者劇団は和泉流狂言師三宅右近師の指導により、昔から継承された狂言特有の動き、運びをそのままに、手話表現の研究を重ね、古典芸能にふさわしい手話狂言を作ることにつとめました。手話のセリフと声のタイミングや間の取り方にも工夫を重ね、古典芸能の強靭さと手話の豊かな表現力をあわせ持つ、手話狂言が誕生したのです。台詞を手話及び声で表情豊かに表現しますので、聞こえる人も聞こえない人も共に楽しむことができます。



【サインマイム】とは…

サイン(手話)とパントマイムの特徴を合わせて作り出された表現方法です。ただ、言語的意味を持つ手話とは異なり、指、手、腕、そして表情を交え、情景や心理まで描写します。たとえば、ある対象をロング・ショットとクローズ・アップの表現を使って遠近感や奥行きのある動きを描写するなど、まるで映画のように物語を作り上げます。



フリガナ			
お名前			
ご住所	〒		
メールアドレス		参加人数	
電話番号		FAX	